

- 本製品は、ケーシング付タイプ薄壁用(片引戸・引違い戸2枚建・引違い戸4枚建・引分け戸)は壁厚(111~141mm)、厚壁用(片引戸・引違い戸2枚建・引違い戸4枚建・引分け戸)は壁厚(142~182mm)、片引戸2枚建は壁厚(146~176mm)、片引戸3枚建は壁厚(186~208mm)に取付けられます。
- ノンケーシングタイプNC156(片引戸・引違い戸2枚建・引違い戸4枚建・引分け戸)は壁厚(116~130mm)、NC171(片引戸・引違い戸2枚建・引違い戸4枚建・引分け戸)は壁厚(131~145mm)、NC180(片引戸・片引戸2枚建・引違い戸2枚建・引違い戸4枚建・引分け戸)は壁厚(146~160mm)、NC210(片引戸3枚建)は壁厚(170~190mm)に取付けられます。

■取付けされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

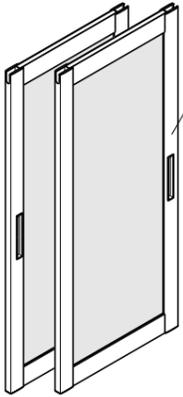
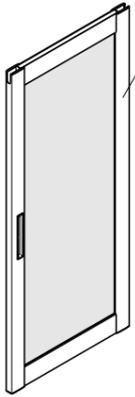
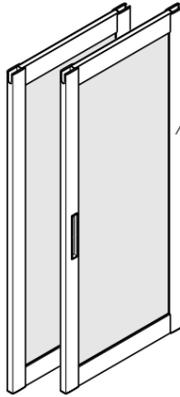
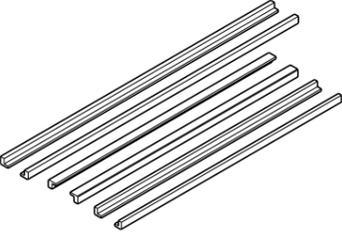
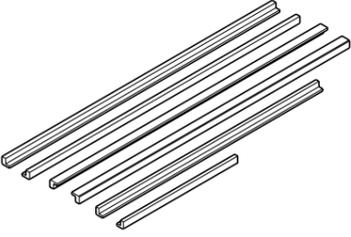
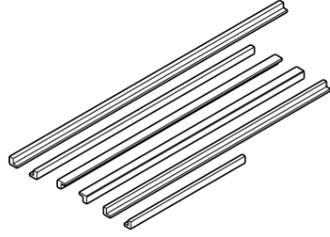
- 吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと本体が落下するおそれがあります。
- 枠固定金具が柱に固定ねじで固定されていることを確認してください。固定ねじの締め忘れは枠・本体の脱落の原因になります。
- 上レールは出荷時に鴨居に仮固定されています。必ず指定のねじで躯体へ固定してください。本体が脱落するおそれがあります。

■取付け上のお願

- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現地手配」と記されている場合は除きます。)
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現地手配)を併用してください。かい木を使用する場合、かい木の両面に接着剤(現地手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさの間には、必ずすき間をつくって納めてください。
- 縦枠と柱・間柱とのすき間は、枠固定金具を調整して柱とあてて、内装ボードを必ず縦枠に突きあててください。突きあてができない場合は、かい木を入れてください。
- 上枠とまぐさのすき間は必ずかい木を入れてください。
- かい木には合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- 本製品は上吊り方式を採用しています。梁(まぐさ)は、強度を増すため、断面寸法105×180(mm)以上を使用してください。上枠の垂下がりの原因になります。
- 本体にガムテープ・クラフトテープなどの粘着力の強いものを直接張らないでください。養生の際は、マスキングテープなど粘着力の弱いものを使用してください。
- 枠固定金具の調整範囲(調整幅7mm)をこえる開口部については、必ず柱・間柱・まぐさを入れ、調整範囲を満たすようにしてください。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品です。

引違い戸2枚建・引違い戸4枚建用本体	片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建用本体	引分け戸用本体
 <p>1枚梱包×2／引違い戸2枚建用 1枚梱包×4／引違い戸4枚建用</p> <p>部品セット</p> <p>※部品セットは、本体1枚ごとに同梱しています。</p>	 <p>1枚梱包×1／片引戸用 1枚梱包×2／片引戸2枚建用 1枚梱包×3／片引戸3枚建用</p> <p>部品セット</p> <p>※部品セットは、本体1枚ごとに同梱しています。</p>	 <p>1枚梱包×2／引分け戸用</p> <p>部品セット</p> <p>※部品セットは、本体1枚ごとに同梱しています。</p>
引違い戸2枚建・引違い戸4枚建用枠	片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建用枠	引分け戸用枠
<p>召合せパッキン(2本) (引違い戸2枚建には、入っていません。) ※召合せパッキンは、本体取付けになります。なくさないようにしてください。</p> <p>戸当り(2本)</p> <p>縦枠(2本)</p> <p>鴨居</p> <p>取付け説明書</p> <p>部品セット</p>	<p>目かくし(片引戸3枚建のみ)</p> <p>縦枠</p> <p>小縦枠</p> <p>中縦枠</p> <p>戸当り(2本)</p> <p>鴨居</p> <p>取付け説明書</p> <p>部品セット</p>	<p>召合せパッキン(2本) ※召合せパッキンは、本体取付けになります。なくさないようにしてください。</p> <p>戸当り(2本)</p> <p>小縦枠(2本)</p> <p>中縦枠(2本)</p> <p>鴨居</p> <p>取付け説明書</p> <p>部品セット</p>
ケーシングセット(ケーシング付タイプのみ)	ケーシングセット(ケーシング付タイプのみ)	ケーシングセット(ケーシング付タイプのみ)
		
埋込下レール	埋込下レール	埋込下レール
<p>埋込下レール</p> <p>部品セット</p>	<p>幅木</p> <p>埋込下レール</p> <p>部品セット</p>	<p>幅木</p> <p>埋込下レール</p> <p>部品セット</p>

■枠セット明細

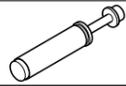
部材名称	片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸2枚建	引違い戸4枚建	引分け戸
枠	鴨居	1	1	1	1	1
	縦枠	1	1	1	2	2
	中縦枠	1	1	1	—	—
	小縦枠	1	1	1	—	—
	戸当り	2	2	2	2	2
	目かくし	—	—	1	—	—
	召合せパッキン	—	—	—	—	2
部品セット	片引戸用	1	—	—	—	—
	片引戸2枚建用	—	1	—	—	—
	片引戸3枚建用	—	—	1	—	—
	引違い戸2枚建用	—	—	—	1	—
	引違い戸4枚建用	—	—	—	—	1
	引分け戸用	—	—	—	—	—

■埋込下レール明細

部材名称	片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸2枚建	引違い戸4枚建	引分け戸
埋込下レール	1	1	1	1	1	1
幅木	1	1	1	—	—	2
部品セット	片引戸・引違い戸2枚建用	1	—	—	1	—
	片引戸2枚建用	—	1	—	—	—
	片引戸3枚建用	—	—	1	—	—
	引違い戸4枚建用	—	—	—	—	1
	引分け戸用	—	—	—	—	—

■部品セット明細

□本体部品セット

部品名称	入数
ガイドローラー 	2

□片引戸3枚建埋込下レール部品セット

部品名称	入数
下レール固定用皿タッピンねじφ3.5×20	12

□片引戸部品セット

※予備用4本含む

部品名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×60	※9
縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6
吊車 	2

□引違い戸2枚建部品セット

※予備用4本含む

部品名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×60	※9
縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6
吊車 	4

□片引戸・引違い戸2枚建埋込下レール部品セット

部品名称	入数
下レール固定用皿タッピンねじφ3.5×20	5

□引違い戸4枚建埋込下レール部品セット

部品名称	入数
下レール固定用皿タッピンねじφ3.5×20	8

□片引戸2枚建部品セット

※予備用4本含む

部品名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×60	※10
縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6
吊車 	4

□引違い戸4枚建部品セット

※予備用4本含む

部品名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×60	※12
縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6
吊車 	8

□片引戸2枚建埋込下レール部品セット

部品名称	入数
下レール固定用皿タッピンねじφ3.5×20	6

□引分け戸埋込下レール部品セット

部品名称	入数
下レール固定用皿タッピンねじφ3.5×20	9

□片引戸3枚建部品セット

※予備用4本含む

部品名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×60	※17
縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6
吊車 	6

□引分け戸部品セット

※予備用4本含む

部品名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×60	※12
縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6
吊車 	4

■開口部の作り方

■開口部寸法の出し方

開口A寸法=製品寸法(W)+5mm

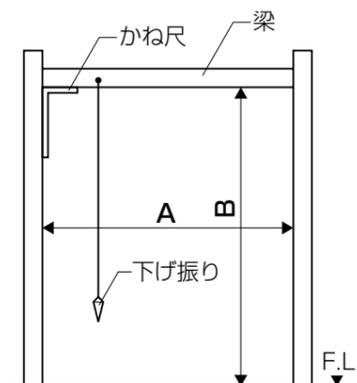
開口B寸法=製品寸法(H)+5mm

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

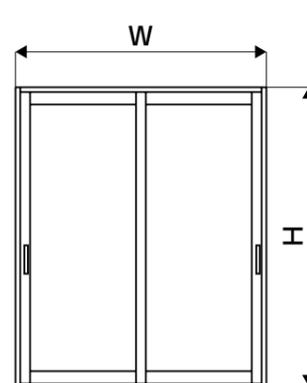
※本製品は、上吊り方式を採用しています。

梁(まぐさ)は、強度を要するため、断面寸法105×180(mm)以上を使用してください。

■開口寸法



■製品寸法



■取付け順序

1 床の張り方

※取付け詳細を参照してください。

■取付け詳細

1 床の張り方

①製品寸法から開口寸法を算出し、開口部を作成します。

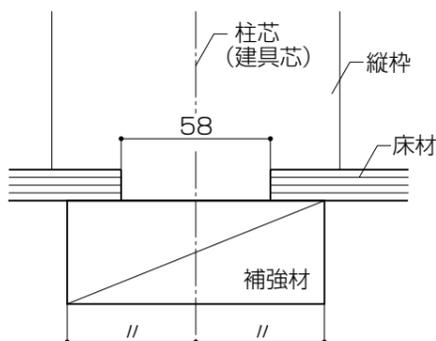
②埋込下レール用溝の位置を決めます。(埋込下レール施工時に必要です。)

※補強材が入っていることを確認してください。

③床を施工します。

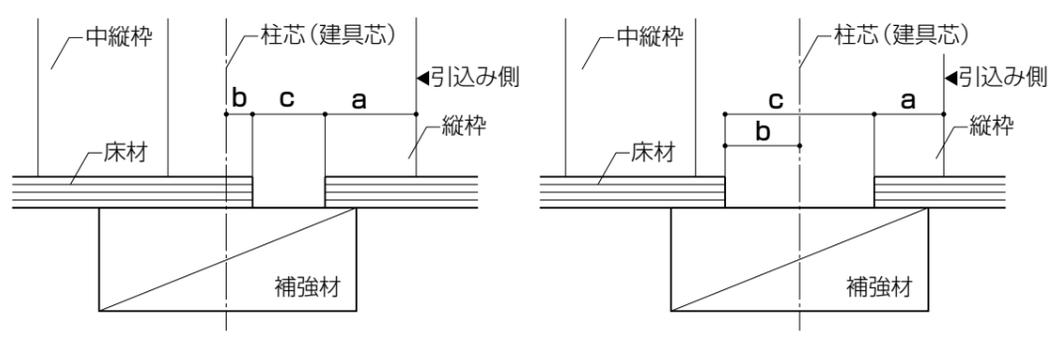
■引違い戸2枚建・引違い戸4枚建

※床材は、柱芯(建具芯)を中心に58mmあけて張ってください。



■片引戸

※床材は、柱芯(建具芯)より引込み側にc寸法あけて張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所にc寸法あけて張ってください。



(単位:mm)

枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
NC156	50.5	7.5	20
C付115(薄壁)	30	7.5	20

(単位:mm)

枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
NC171	65.5	0	20
NC180	74.5	4.5	20
C付142(厚壁)	57	6	20
NC片引戸2枚建	38	6	58
NC片引戸3枚建	33.5	20.5	92
C付片引戸2枚建	28.5	11.5	58
C付片引戸3枚建	34	31	92

2 枠の組立て

2 枠の組立て

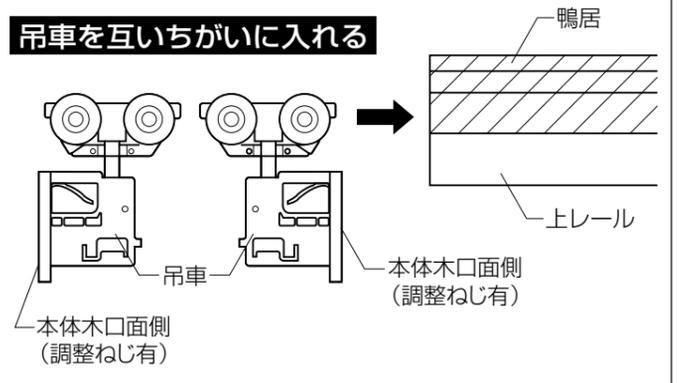
①吊車を互い違いの向きにして上レールに入れてください。

お願い

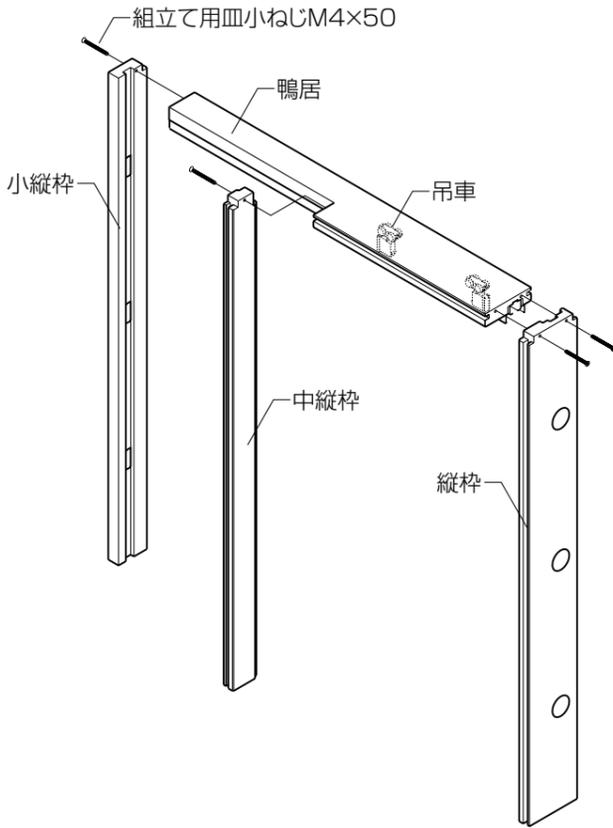
- 枠タイプ(片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建・引違い戸2枚建・引違い戸4枚建・引分け戸)を確認し、上レールの本体取付け個所に吊車を入れてください。
- 枠組立て前に鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。

②下図のように、各部材を組合せ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

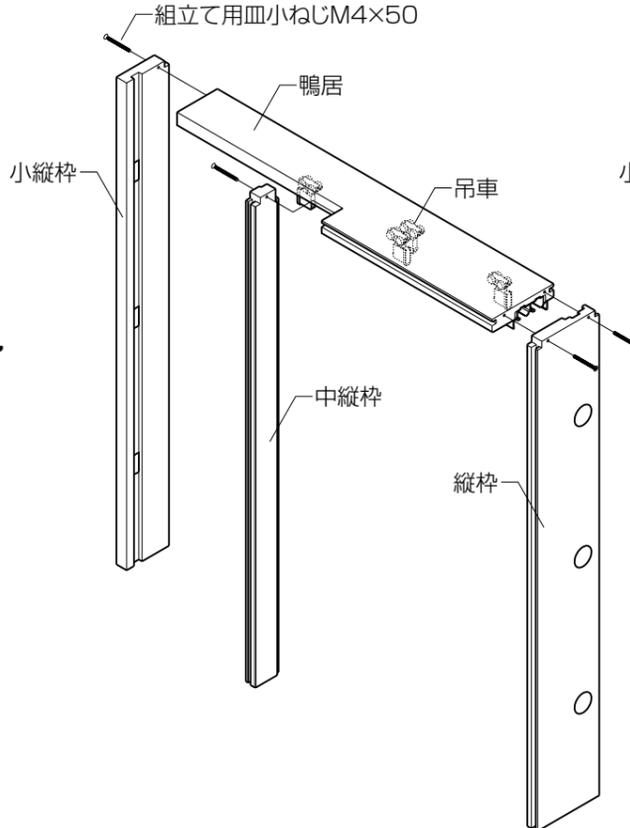
吊車を互い違いに入れる



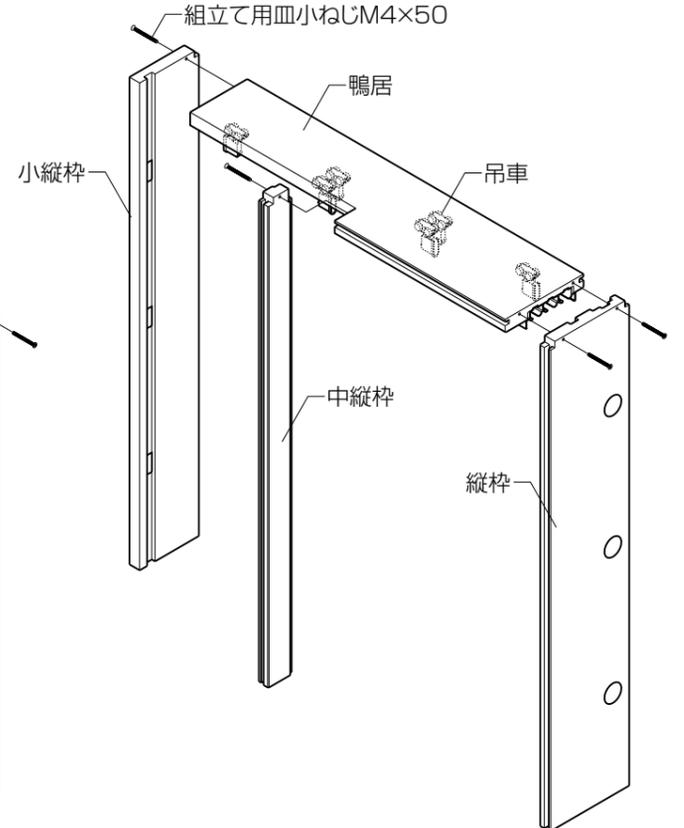
■片引戸



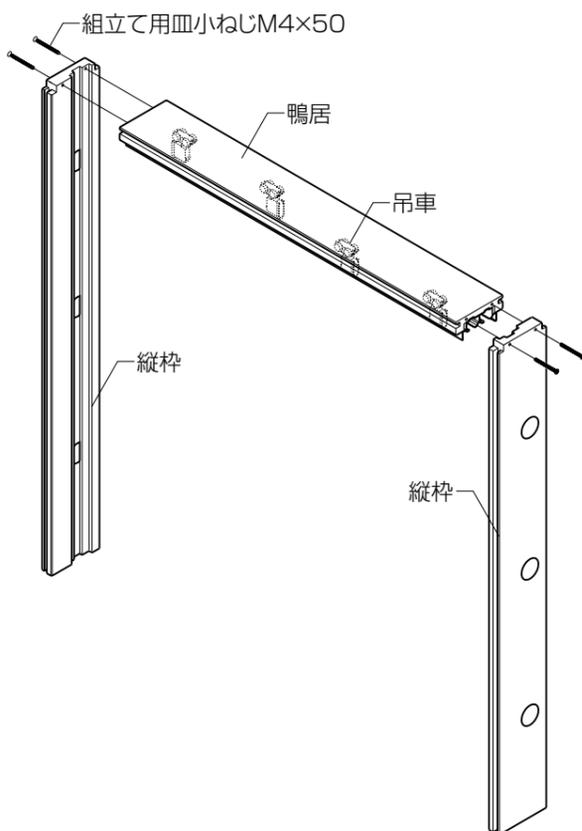
■片引戸2枚建



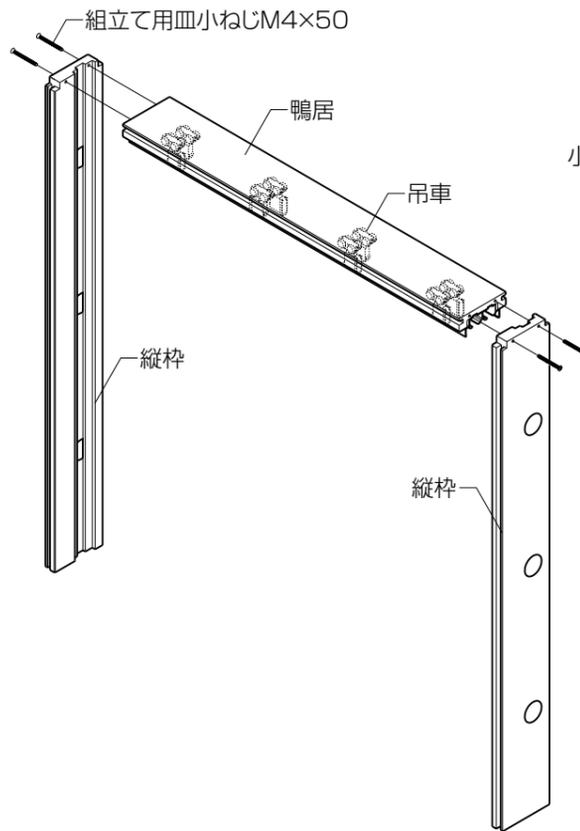
■片引戸3枚建



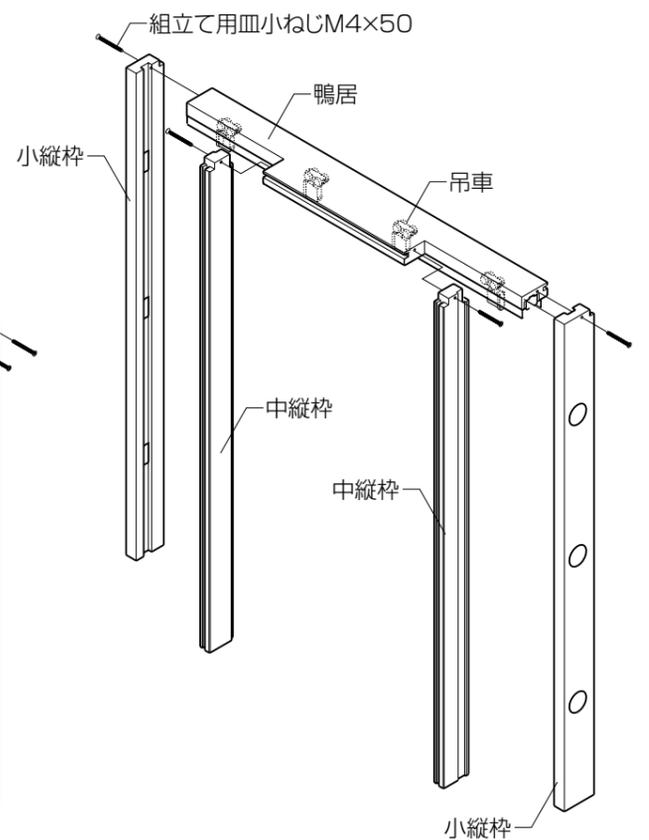
■引違い戸2枚建



■引違い戸4枚建



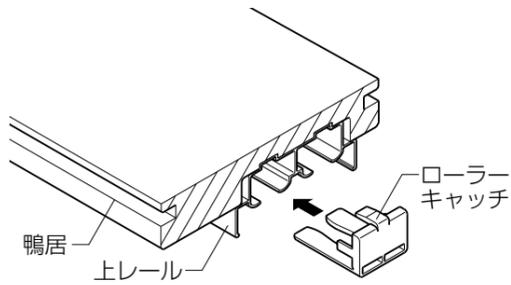
■引分け戸



お願い

■引違い戸4枚建

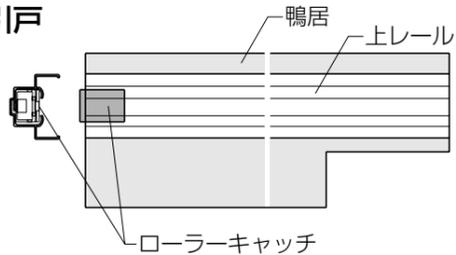
- ①引違い戸4枚建は、ローラーキャッチを片方取外してください。
- ②吊車を入れてください。
- ③吊車取付け後、取外してあるローラーキャッチを元の位置に必ず取付けてください。



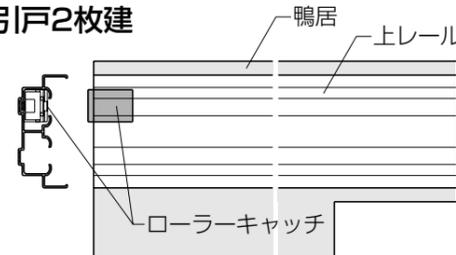
※片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建・引違い戸2枚建は、ローラーキャッチが取付けられていない上レール端部より吊車を入れてください。片分け戸にはローラーキャッチは付いていません。

【配置図】

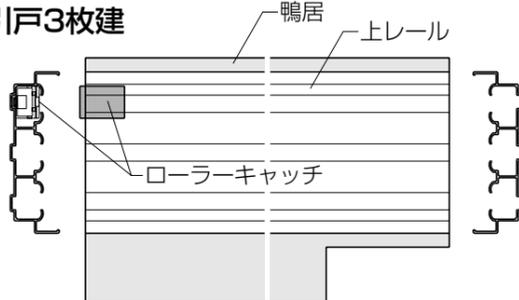
■片引戸



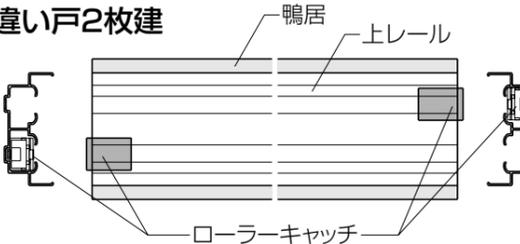
■片引戸2枚建



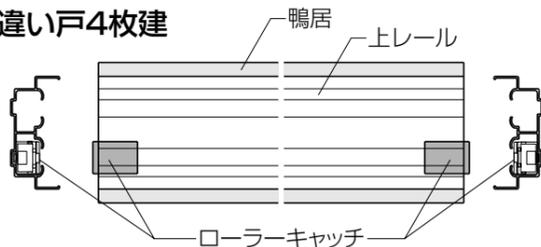
■片引戸3枚建



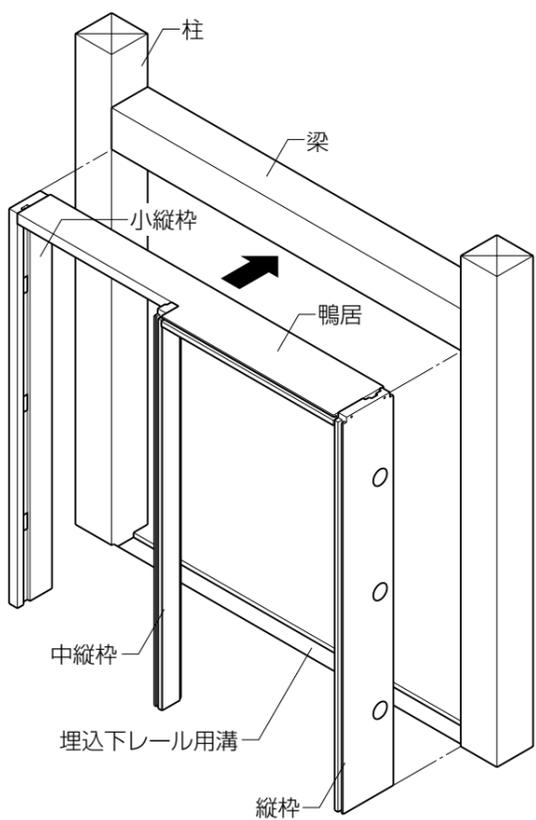
■引違い戸2枚建



■引違い戸4枚建



3 枠の取付け

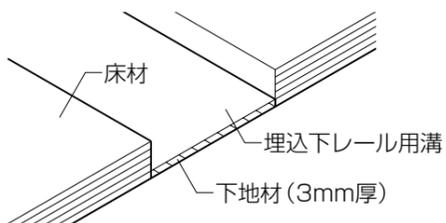


3 枠の取付け

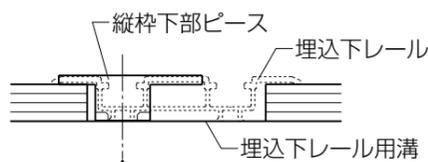
- ①枠を開口部に入れ、縦枠下部ピースを床の埋込下レール用溝にはめ込んでください。

お願い

※15mmの床材を使用する場合は、下地材(3mm厚)を埋込下レール用溝に取付けてください。



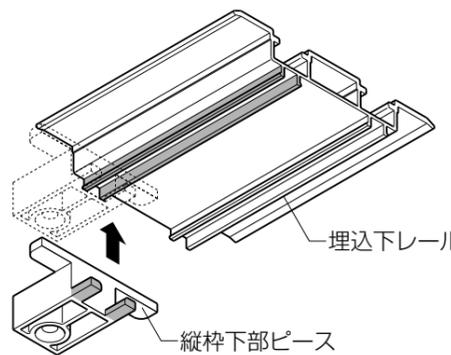
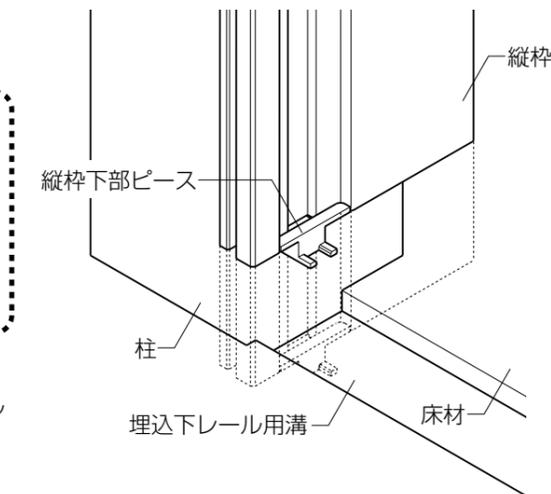
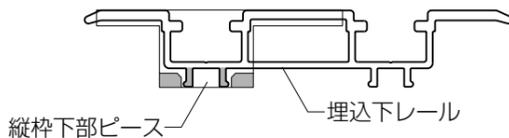
- ②下レールを埋込下レール用溝にセットし、位置出ししてください。



※縦枠下部ピース中央と埋込下レールの溝中央とを合わせてください。

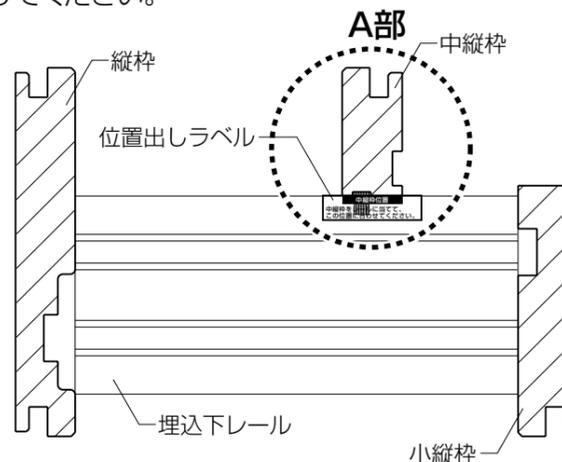
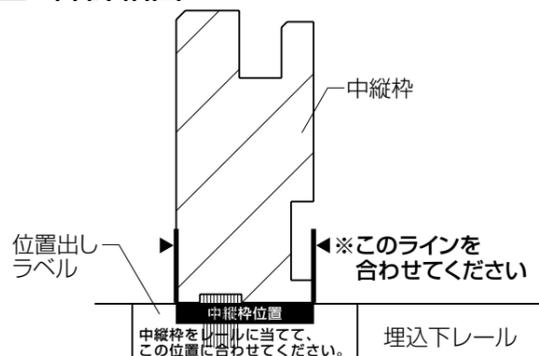
お願い

※埋込下レールの足(■部)を縦枠下部ピースの足(■部)の間に下図のように取付けてください。ねじ止め時に、埋込下レールの浮きや本体開閉不具合の原因となります。



- ③片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分け戸の場合、中縦枠の位置出しは、埋込下レールの位置出しラベルに合わせて取付けてください。

■A部詳細図

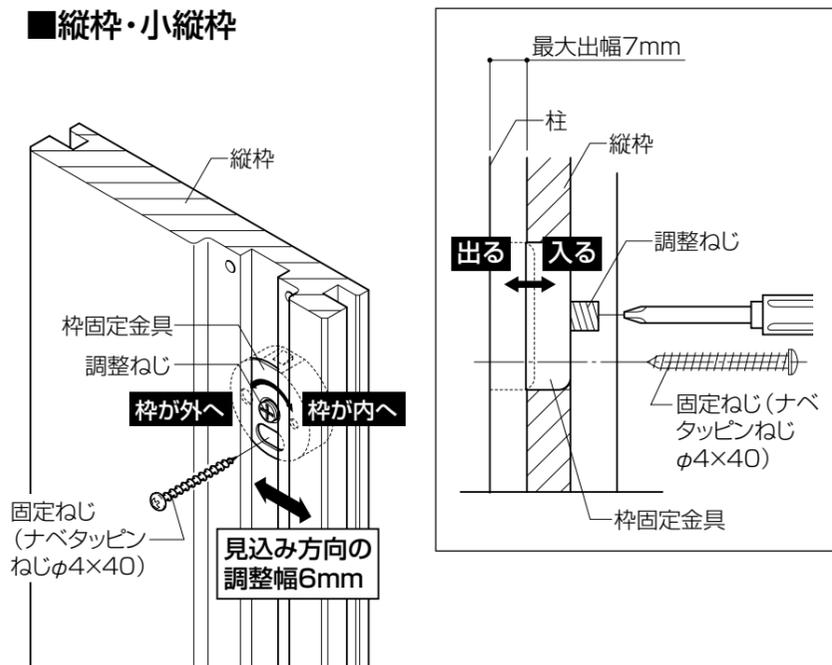


- ④縦枠に取付けられている枠固定金具（縦枠に3個取付け）の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
- ⑤枠の垂直を確認してください。
- ⑥固定ねじ（ナベタップピンねじφ4×40）を枠固定金具の長穴中央部分より締付けてください。
- ⑦枠の奥行方向のたおれを確認してください。たおれている場合は固定ねじをゆるめ、枠を動かします。（奥行方向の調整幅は6mmです）調整後ねじを固定してください。
- ⑧枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取付いている部分の開口寸法が均等になるように調整してください。
- ⑨再度、枠の垂直を確認してください。

お願い

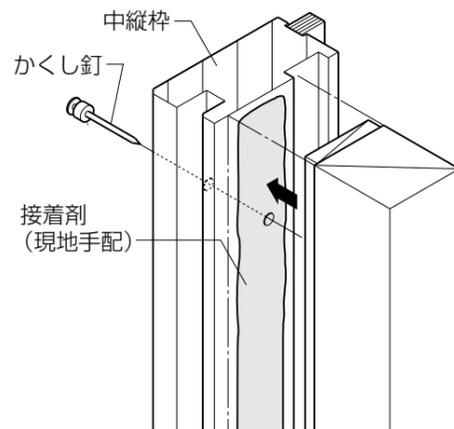
- ※片引戸の建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから施工してください。
- ※枠固定金具の調整には電動ドライバーは使用しないでください。
- ※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

■縦枠・小縦枠



■中縦枠

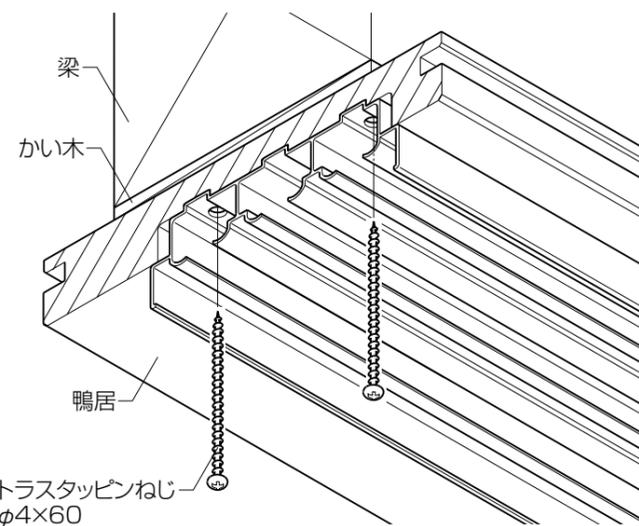
※裏面に接着剤（現地手配）を塗布し、専用のかくし釘で固定します。



- ⑩鴨居はかい木を入れて、上レールの穴からトラスタップピンねじφ4×60で躯体に固定してください。

お願い

- ※鴨居の躯体固定ねじを締めすぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体を吊込んだ時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。

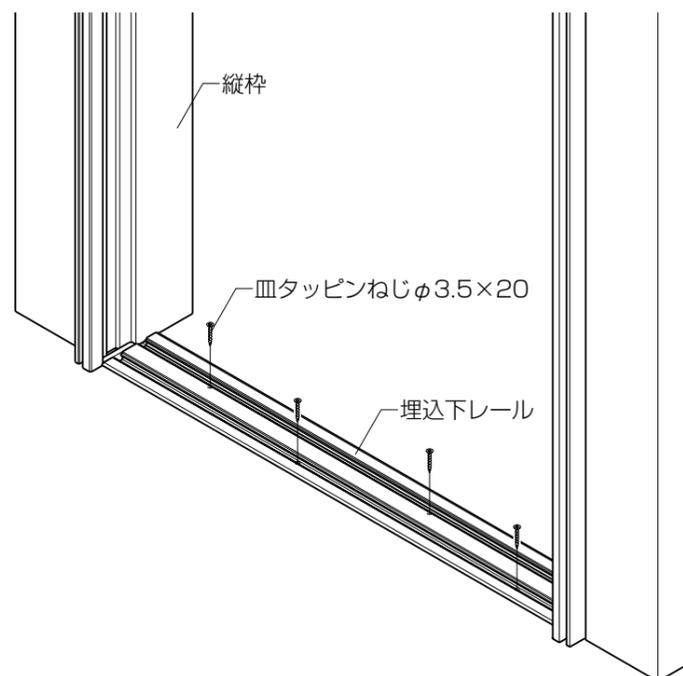
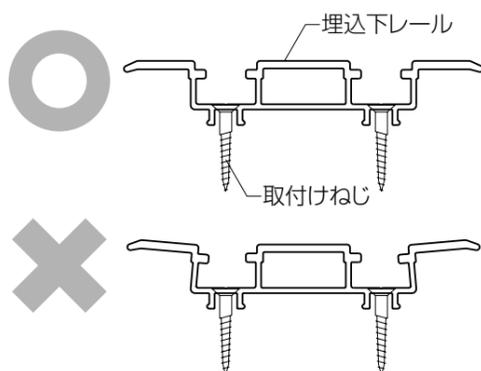


- ⑪埋込下レールの取付け

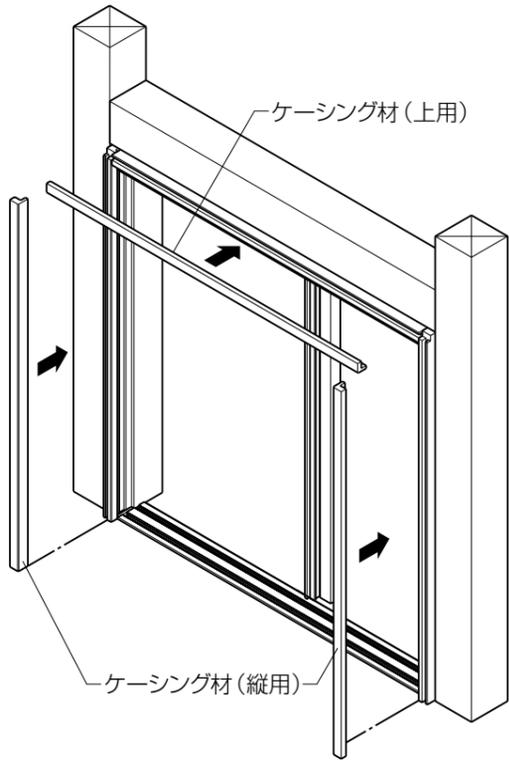
埋込下レールをねじ（皿タップピンねじφ3.5×20）で固定します。（手順②の埋込下レールと縦枠下部ピースの位置を確認してからねじ止めしてください。埋込下レールの浮き上がりや本体開閉不具合の原因となります。）

お願い

- ※埋込下レールを取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。埋込下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。



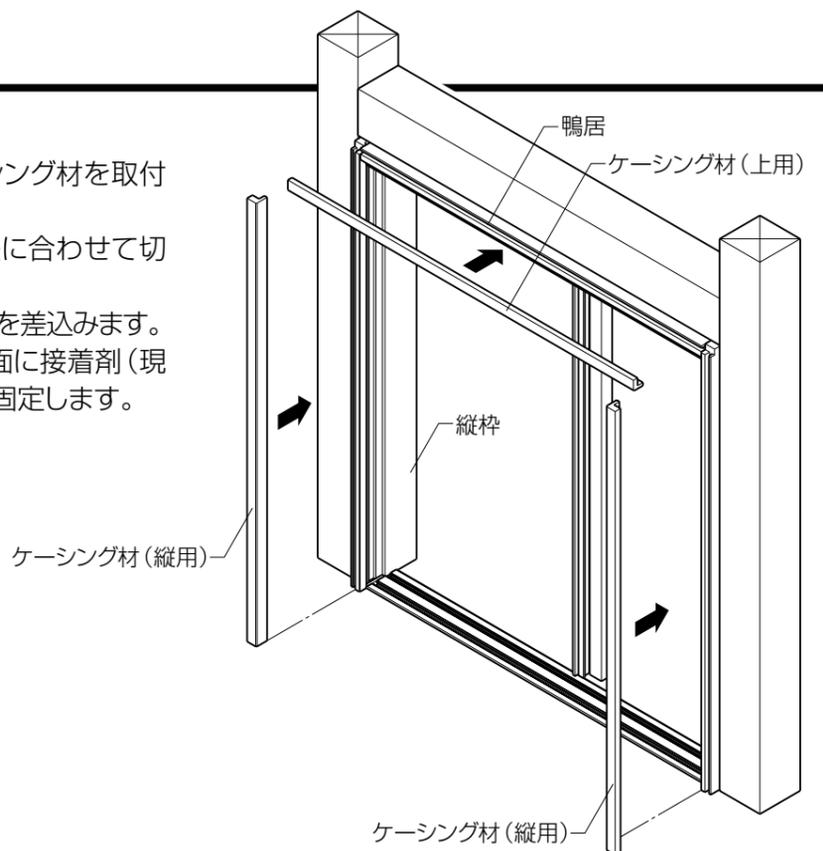
4 ケーシング材の取付け



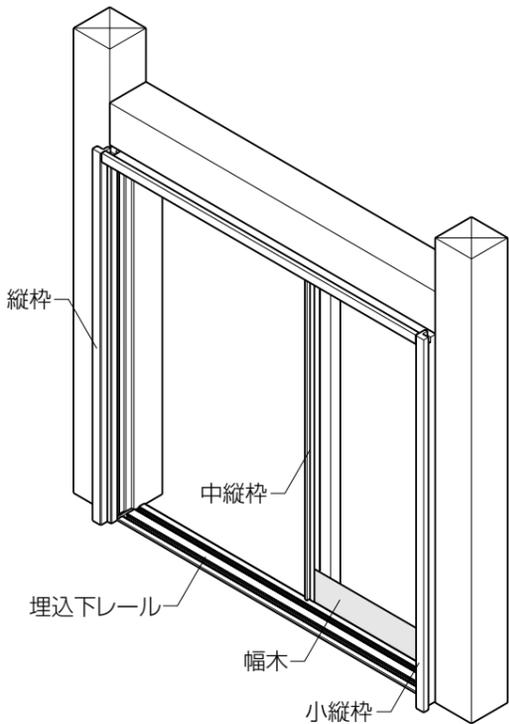
4 ケーシング材の取付け

※壁材・床材を仕上げた後、ケーシング材を取付けます。

- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤（現地手配）を塗布し、ケーシングを固定します。

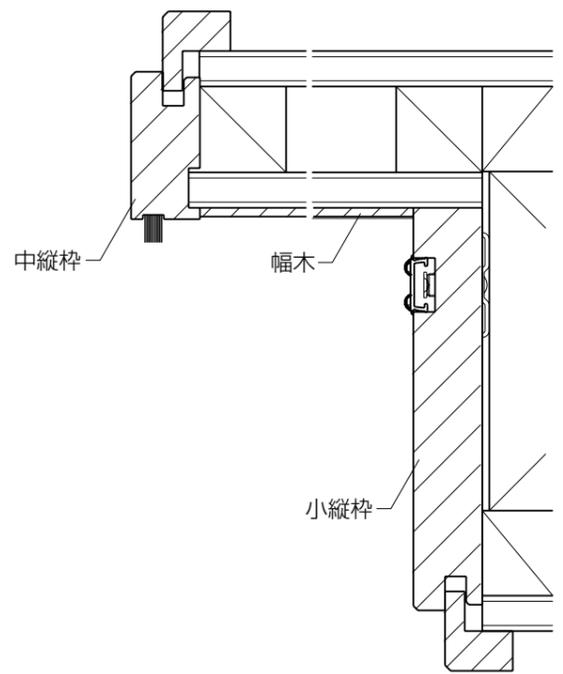


5 幅木の取付け

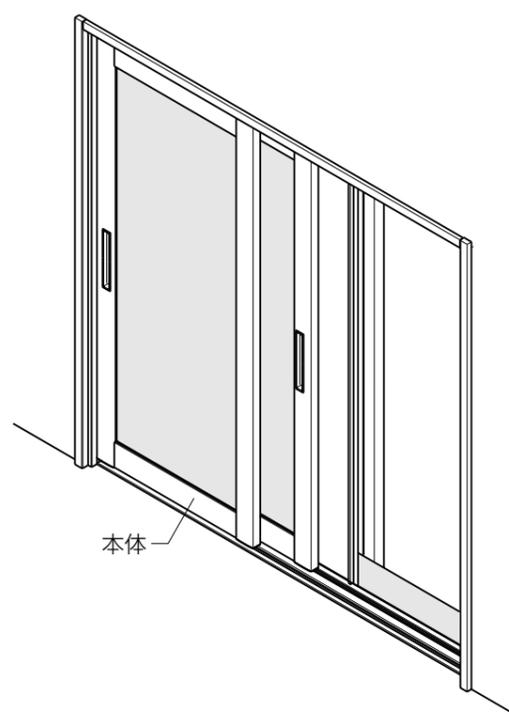


5 幅木の取付け

※小壁のボードと埋込下レールを見切るために幅木が同梱されています。必ずご使用ください。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤（現地手配）を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは、200～300mmです。



6 本体の吊込み

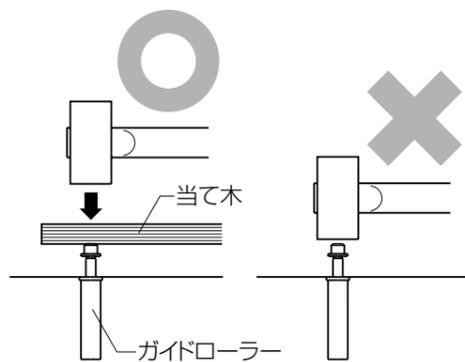


6 本体の吊込み

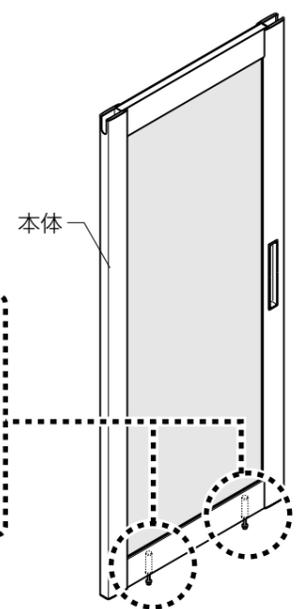
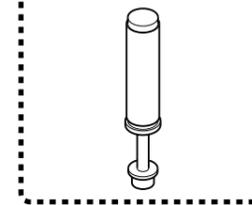
①本体下端の加工穴にガイドローラーを圧入します。

●お願い

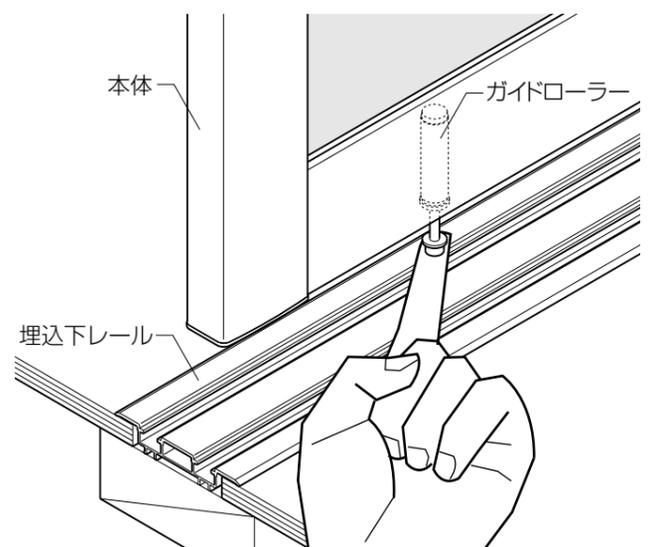
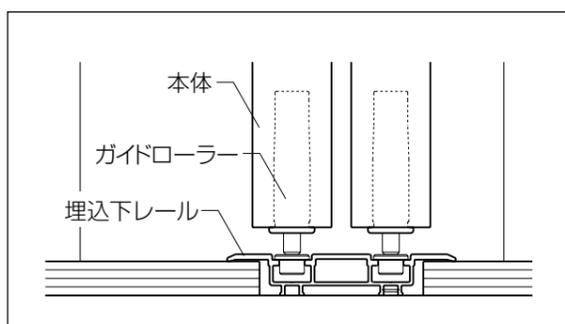
※ガイドローラーを圧入する際は、樹脂部に当て木を使用してください。



●ガイドローラー



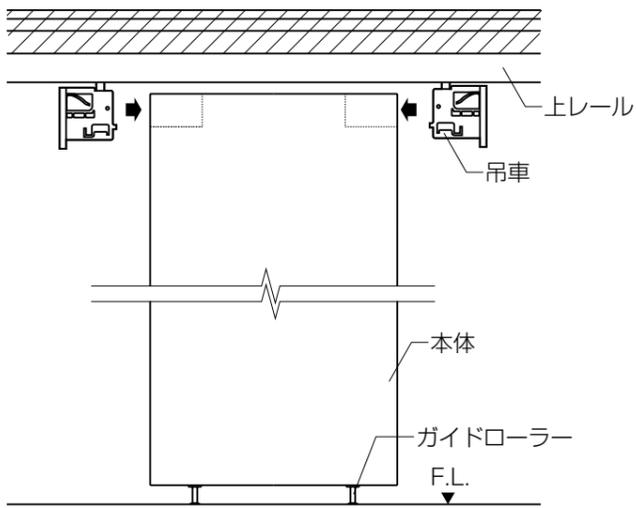
②ガイドローラー先端を指で押さえ、埋込下レールへ差込みます。



③片側ずつ吊車を本体に**水平に押込む**と、ワンタッチで取付けられます。
 ※吊車の凸部を本体上部溝の凹部に合わせて差込みます。

▲注意

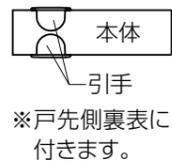
●吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押込んでください。押込み後、引張って抜けないことを確認してください。押込みが足りないと本体が落下するおそれがあります。



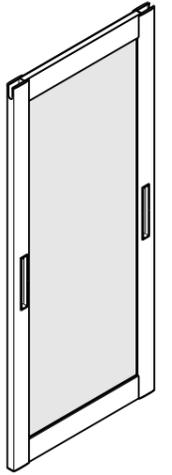
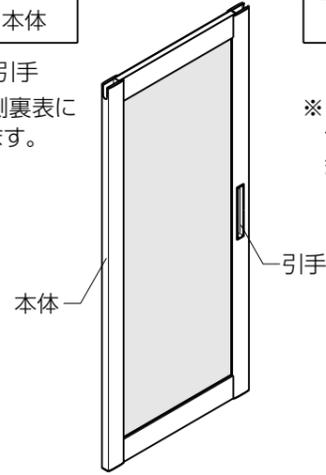
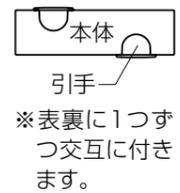
お願い

※片引戸2枚建・片引戸3枚建本体には片側引手本体とクロス引手本体があります。引手方向(勝手)を確認してから枠に吊込んでください。

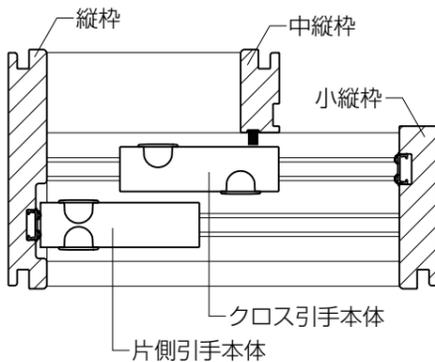
■片側引手本体



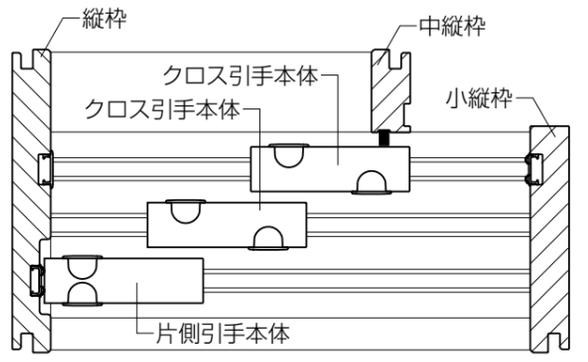
■クロス引手本体



■片引戸2枚建(概略参考図)



■片引戸3枚建(概略参考図)

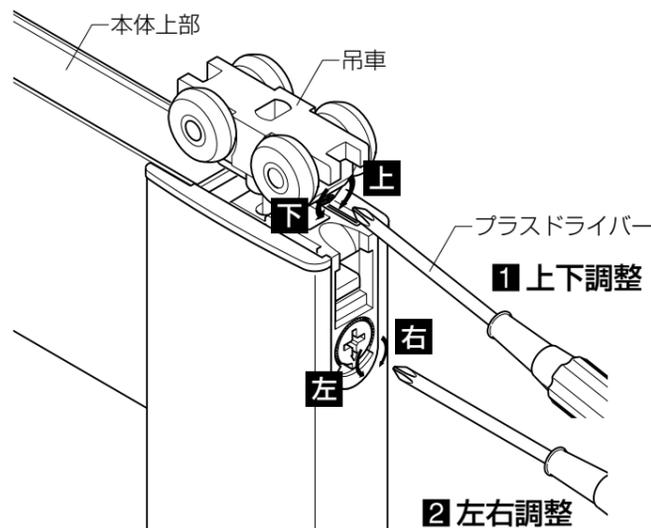


■本体の建付け調整

※本体の吊車には、上下方向および前後方向の調整機能が付いています。

1 上下調整(調整幅+4mm、-1mm)

●プラスドライバーで、吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
 ※床面と本体下部とのチリ寸法は、8mmが標準です。
 ※本体を下げすぎると振れ止めベース部と本体が当たりますので、下げすぎないでください。

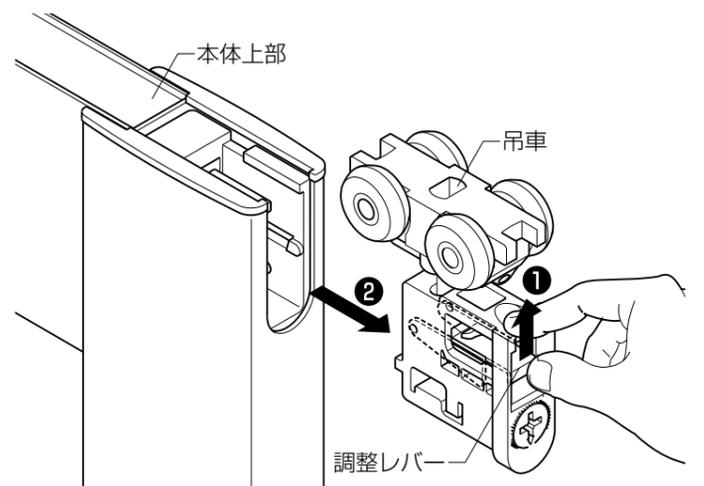


2 前後調整(±2mm)

●前後調整は、プラスドライバーで吊車下部の調整ねじを右に回すと本体が右へ動き、左に回すと本体が左に動きます。

3 本体の取外し方法

●本体を手で支えてから吊車の操作レバーを指でつまみ、上に押し上げます。次に吊車を本体の内部ケースより引抜き、取外します。

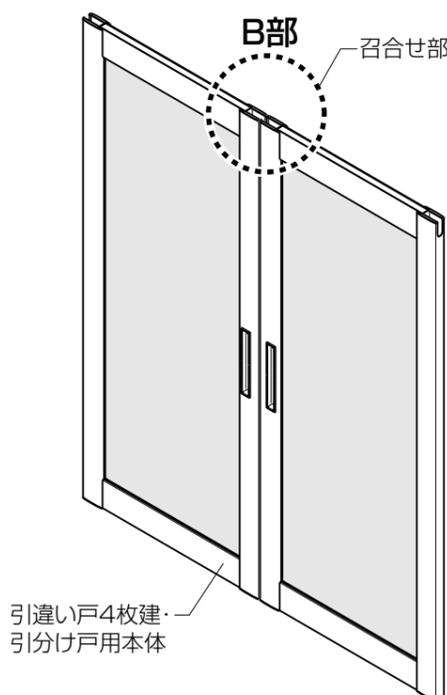


■召合せパッキンの取付け

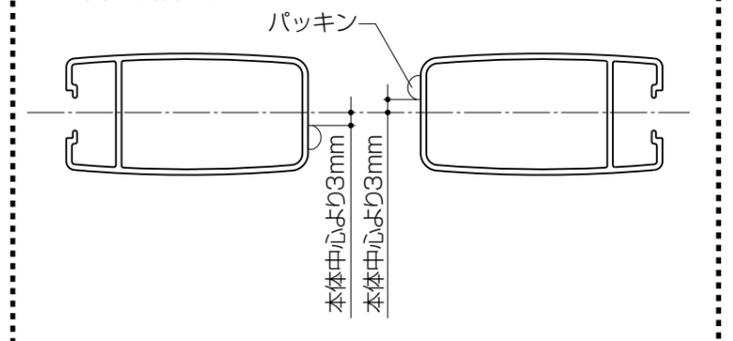
●本体の吊込み・建付け調整を行った後、引違い戸4枚建・引分け戸用本体の召合せ部に、本体に同梱のパッキンを取付けます。
 ●パッキン裏面のシートをはがし、5kg程度の力で押し張ります。パッキンは、長めのものを同梱していますので、現場でカットしてください。

お願い

※パッキンは、必ず本体を吊込んで、建付け調整を行ってから張付けてください。
 ※パッキンは、張付け面のホコリ・汚れ・油分などを取除いてから張付けてください。



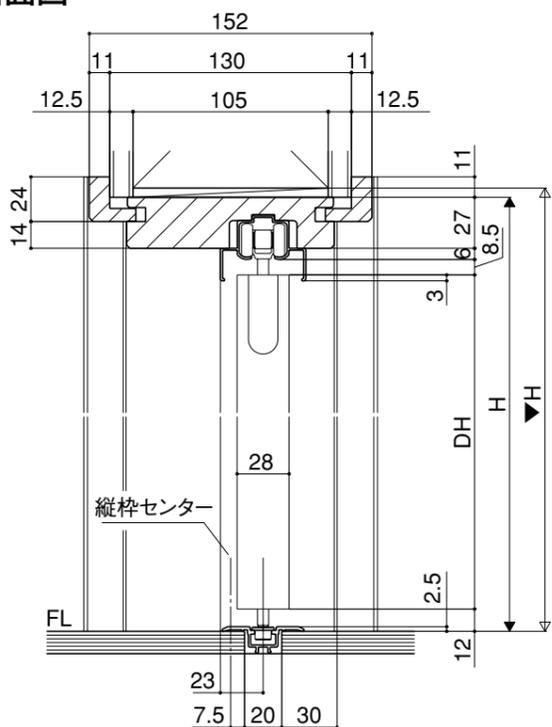
■B部詳細図



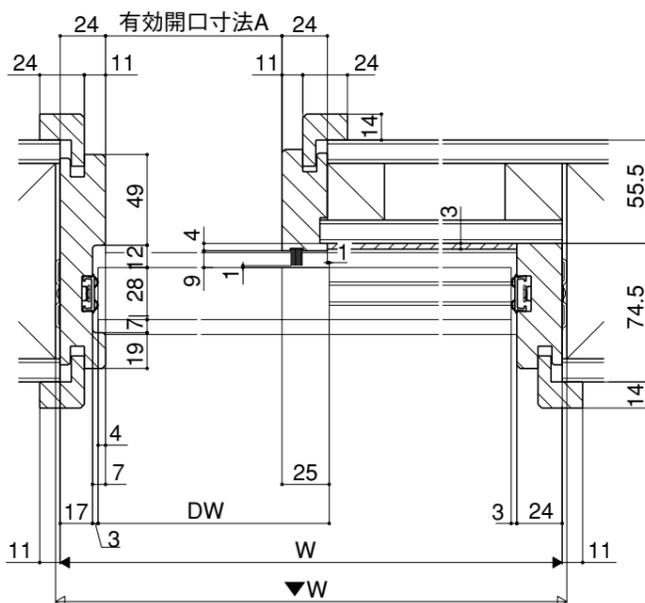
■参考納まり図

■可動間仕切り引戸スライドタイプ 片引戸ユニット ケーシング付

●縦断面図



●横断面図



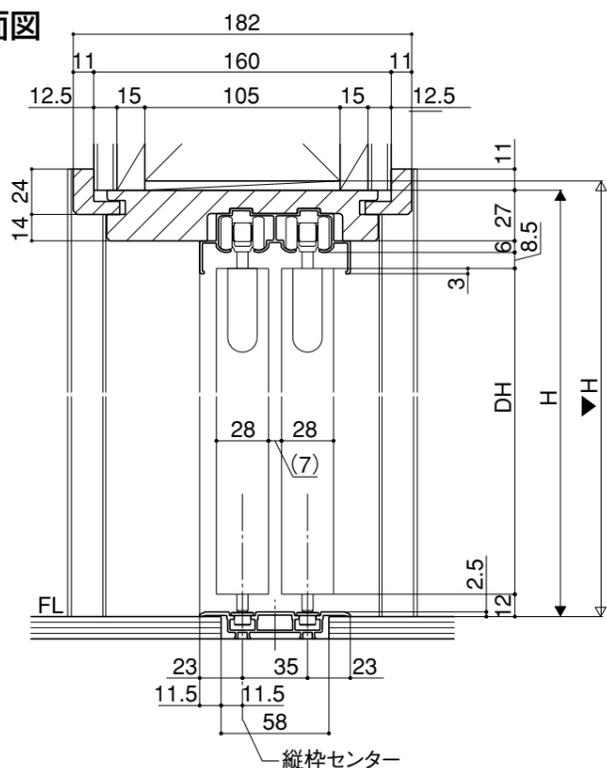
基本寸法 (mm)	W呼称	16	18
	W(DW)	1644(811)	1824(901)
	H呼称	20	23
	H(DH)	2023(1969.5)	2306(2252.5)

部材名称	薄壁用	厚壁用
	枠幅寸法	枠幅寸法
縦枠	115	142
小縦枠	67	94
中縦枠	52	52
鴨居	111	138
埋込下レール	44	44

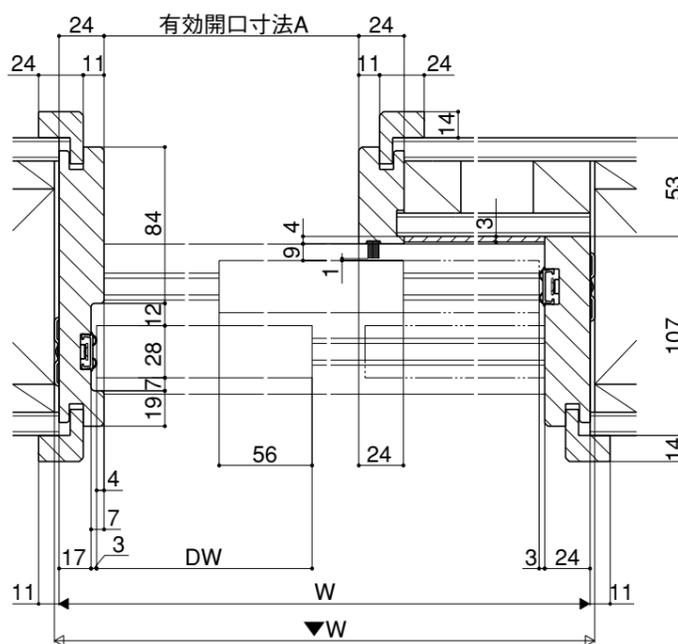
W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W16(1644)	782
W18(1824)	872

■可動間仕切り引戸スライドタイプ 片引戸2枚建ユニット ケーシング付

●縦断面図



●横断面図



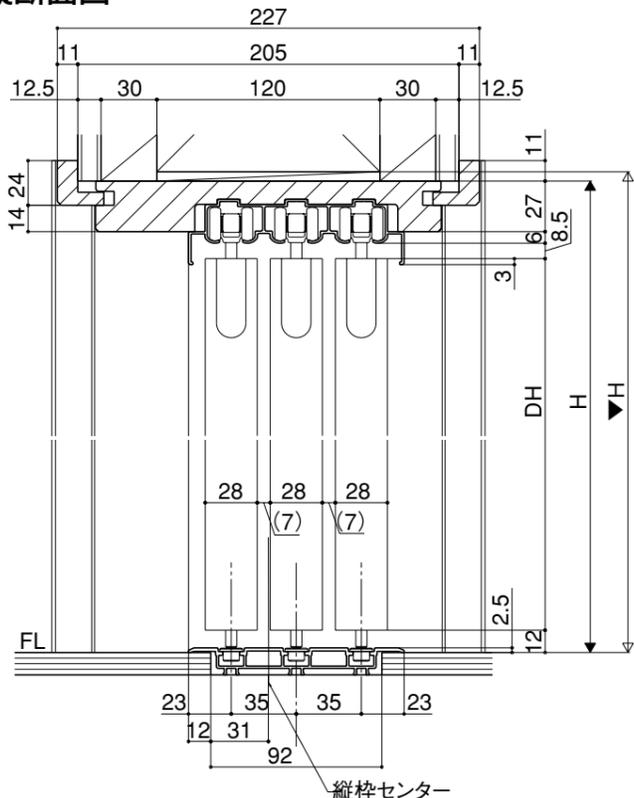
基本寸法 (mm)	W呼称	25
	W(DW)	2478(837)
	H呼称	23
	H(DH)	2306(2252.5)

部材名称	枠幅寸法
縦枠	150
小縦枠	102
中縦枠	52
鴨居	146
埋込下レール	81

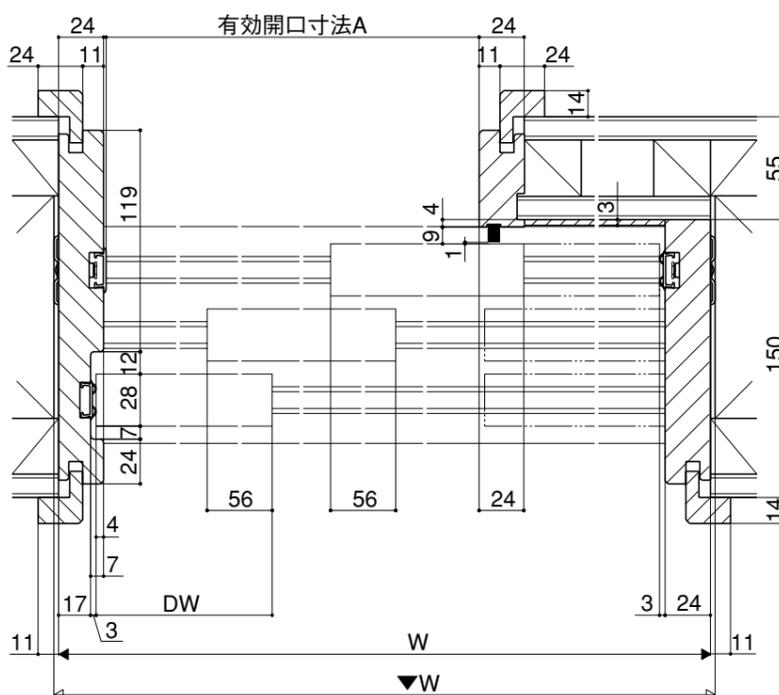
W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W25(2478)	1590

■可動間仕切り引戸スライドタイプ 片引戸3枚建ユニット ケーシング付

●縦断面図



●横断面図



基本寸法 (mm)	W呼称	32
	W(DW)	3259(837)
	H呼称	23
	H(DH)	2306(2252.5)

部材名称	枠幅寸法
縦枠	190
小縦枠	142
中縦枠	52
鴨居	186
埋込下レール	116

W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W32(3259)	2369.5

